



健診結果を確認しましょう！

今年度の総合健診は6月2日から9日(7日を除く)7日間の実施で、764人の方(※)が受診しました。受診者には結果説明会または郵送で結果を送付しましたので、これまでの結果と比較してご自身の生活習慣の改善につなげましょう。

(※社会保険被扶養者及びがん検診のみ受診した方を除く)



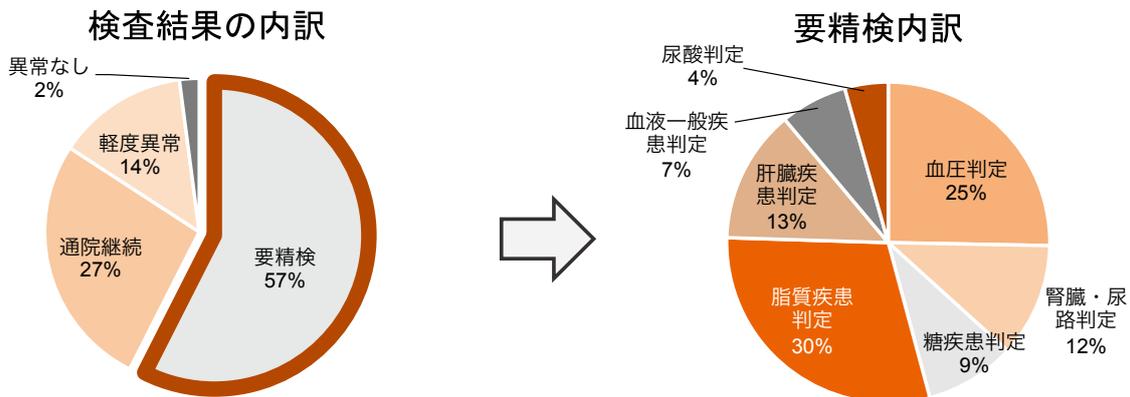
令和7年度総合健診の結果

総合健診で特定健診(※)を受診した437人のうち、一項目以上要精密検査に該当したのは251人(57%)、すべての項目が異常なしの方は9人(2%)でした。

特定健診の目的は、生活習慣を振り返り、病気を予防することです。要精密検査に該当した方は、「このくらい大丈夫だろう」「来年の健診まで様子を見よう」などと自己判断せず、必ず医療機関を受診してください。

また、検査結果の見方や、生活習慣の改善方法について詳しく知りたい場合は、健康福祉課にお問い合わせください。

(※)特定健診とは、生活習慣病の予防のために、40歳～74歳の国保加入者を対象として、メタボリックシンドロームに着目した健診を行うもの。



令和8年度総合健診の予約方法について

令和8年度から総合健診の日時予約を、WEBまたは電話での受け付けができるようになります。WEB予約には、スマートフォンやパソコン等のインターネットに接続できる機器が必要です。また、利用時にはメールアドレスの登録が必須です。なお、1台の機器で複数人分の予約が取れます。幅広い年代の方が予約できるように努めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願いします。

令和7年度平田村敬老会について

令和7年度の敬老会を令和7年9月7日(日)午前9時30分より、平田村勤労者体育センターで開催します。

村内に居住する75歳以上の方(昭和26年4月1日以前に生まれた方)に、別途通知しますので、ぜひご来場ください。



健康福祉課 ☎55-3119

ひらた中央病院



ひらた中央病院
小原 大治 医師

今回は**特定健診**と**後期高齢者健診**について説明します。

特定健診は「メタボ健診」とも呼ばれ、40～74歳を対象にメタボリックシンドロームの危険をチェックします。メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪の蓄積に加えて脂質異常、高血糖、高血圧などの動脈硬化の危険因子を2つ以上併せ持つ状態を指します。特定健診の結果、生活習慣に問題があると判断された人は特定保健指導を受け、生活習慣の改善に取り組むことになります。生活習慣病と呼ばれる高血圧症、糖尿病、脂質異常症は重症化すると脳卒中、心筋梗塞等の危険があります。生活習慣病の初期は自覚症状がない場合が多いため、早期発見により、脳卒中、心筋梗塞を予防するため特定健診は行われています。

75歳以上の高齢者の方を対象とした後期高齢者健診では、40～74歳を対象にして行う特定健診と同様に、高血圧、糖尿病、脂質異常症の有無を調べることができます。高血圧、糖尿病、脂質異常症がある方は生活習慣を改善するとともに医療機関を受診し、必要に応じて薬剤を服用することになります。しかし、後期高齢者の方においてこれらの危険因子を管理する目的が中年の頃とは大きく異なります。中年期において高血圧、糖尿病、脂質異常症を管理する目的は、脳卒中や心筋梗塞の発症を予防することです。後期高齢者の方においては高血圧、糖尿病、脂質異常症を管理する目的が脳卒中、心筋梗塞の発症を減らすことだけでなく、それらの管理を通して腎臓や心臓の機能を保護することが目的になります。また、高血圧や糖尿病があると脳卒中を介して脳血管性認知症を発症する可能性が高まります。糖尿病患者ではアルツハイマー型認知症にもなりやすいことが知られています。そのため、後期高齢者健診では血圧や血糖を管理する目的の中に認知症の発症予防も含まれることになります。

今回は市町村が主に実施しており、75歳以上の高齢者の方が受けることができる後期高齢者健診と特定健診について紹介しました。後期高齢者健診により高血圧、糖尿病、脂質異常症を管理する目的が脳卒中や心筋梗塞の発症を防ぐだけでなく、心臓や腎臓の機能を保護することや認知症の予防を図ることも含まれていることを説明しました。後期高齢者健診は75歳以上の高齢者の皆さんの身体の状態を知ることができるチャンスです。

ぜひ健康診査を受けてご自身の健康状態を知り、今後の生活に役立てましょう。



ひらた中央病院では村民の方の特定健診、後期高齢者健診の予約を承っております。
特定健診については日曜日の受診も可能です。(※要予約)
健診受診の方の送迎も対応いたします。

お問い合わせ：ひらた中央病院 ☎55-3333